

自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価				
データ 分析 表	データ表			データグラフ
	内容	項目数	平均	
	「乳児保育」	15	4.67	
	「3歳未満児保育」	32	4.31	
	「3歳以上児保育」	53	4.19	
	「教育保育の配慮事項」	16	4.38	
	「健康・安全」	29	4.83	
	「子育ての支援」	18	4.33	
	「職員の資質向上」	9	4.56	
	計	172	4.41	
総合 評価	<p>今年度は園外散歩や園周辺に出かける機会を増やし、季節を感じたり地域に関わったりしてきた。また、近隣の地域の方が園内に入って子どもと関わって下さる機会があり、共に折り紙やあやとりをしたり、糺摺りをしたりとお互いにとって心地良い時間が流れていた。</p> <p>また、連携校の教員と少しずつ顔を合わせる機会が増え、ビオトープでの交流を通して子どもたち同士の姿も見るできるようになってきた。</p> <p>来年度も小学校や地域の方との繋がりを大切にしていき、地域全体で子どもの成長を見守れる環境に近づけていきたい。</p>			

事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	環境を見直し、物の置き場所やエリアの検討を行ない、子どもたちが物と向き合える空間作りを行う 【年間6回】
地域との「信認」の構築	地域の方に園内に入っただき、活躍の場を作ると共に、子どもたちとの交流の機会を増やし、保育に参画していただくことでコミュニケーションを強化していく 【年間12回】
地域の学校との「信頼」の構築	20分休みの交流や、季節ごとの自然物探しを通して学びをつないでいけるよう、小学校教員と共に検討し機会を作っていく 【年間4回】